



だっこ通信 第2号

2020. 9月発行



🌀 だ いじょうぶ・ つながる・ こそだて🌀 「だっこ通信」は、子育て世代を応援します。

あるある話「初めての たまご割り」



子どもが初めて「たまご、割ってみたい」と言ってきました。心配だったけど「何でも経験だ」と思い、挑戦させたのですが……。指が殻を直撃、黄身はつぶれ、白身には殻の破片が混ざり……。子どもは親の顔を見ながら、ドキドキしています。さあ、あなただったら……。

上手に割れたね。
初めてなのにすごいよ！
ママ、嬉しいな。

(*^~^*)

あらら残念。
黄身がつぶれ
ちゃったね。

(^-_^;)

もうやらなくて
だいじょうぶ。あと
はママがやるから。

((+_+))

うまくいくことを想定していると、失敗した時にがっかりします。「上手にできること」はさておき、まずは「やってみること」が大切。黄身がつぶれたら、たまご焼きにすればいい。次もやりたいて言ったら「またお願いね」と声をかければいい。みんなで「今日のたまご焼きはおいしいね。〇〇ちゃんが割ってくれたんだよ。」って言いながら味わったら、特別おいしくなると思います。大人が喜ぶようなことをさせるのではなく、子どもがしたことに大人が喜びを感じること。こういうとき、前号で紹介した「**お・は・よ・う** (**お**どろく・**は**げます・**よ**ろこぶ・**う**なずく)」も有効ですよ！**嬉しい驚きや小さな喜びをたくさん見つけ、積み重ねていくことは、学びのもとである意欲や好奇心につながっていきます。**

★本日のお題

失敗は、成功するための貴重な経験

数々のうまくいかない経験が、実はとっても大切。なぜうまくいかなかったのかを考えます。次はどうしたら良いか、さらに考えます。子どもだってちゃんと考えているんです。たくさん失敗するかもしれないけど、温かく見守っていきましょう。



〔発行者：生涯学習課 鈴木〕